

幡多・マーケット「海辺の日曜日」オープン!

11月8日、土佐西南大規模公園(大方地区)海のバザー駐車場で幡多・マーケット「海辺の日曜日」が開催されました。(特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク主催)

このイベントは、地域にある食材や昔ながらの調理方法、地域素材を活かした新しい地域産品の発見につながるよう、そして、生産者と買い手が直接買い手することで、交流を活性化させ地域に賑わいと呼び起こそうと、来年2月まで月1回(毎週第1日曜日)試験的に行われるとのこと。初回のこの日、町内外のグループや個人生産者が出店する無農薬野菜や果物、鮮魚や鮮肉食品、お菓子やお餅、豆腐や味噌などの手づくり加工品、木工やガラス、布製品などさまざまな品物が並び、来場者を楽しませていました。生産者とお客さん同士だけでなく、出店者同士で情報交換が行われる姿もありました。会場では、毎回、来場者へのアンケートが行われ、協力

いただいた方には当日会場でのみ使える50円分のハタマネーが配られています。また、マイバック推進のため、無料エコバック貸出も実施されていました。

主催者である高知県西部NPO支援ネットワークでは、幡多・マーケットが継続的に開催できるよう模索中であり、毎回マーケット後には出店者の方々との反省会も行っているとのこと。今後も出店希望者を広く募り、より充実した日曜市が期待できそうです。

かきせ川地域(御坊畑・大方橘川・馬荷地区)では、地域の1帯にコスモスの花を咲かせ、秋を楽しむイベントを毎年行っています。

御坊畑・大方橘川・馬荷コスモスで秋を楽しむ

今年も大方橘川では11月3日に「こすもすの花見in橘川」が、8日には馬荷小学校で「地域の秋を楽しむ会」が行われました。

両日とも、朝からぽかぽかと暖かな日となり、色とりどりに咲いたコスモスを見ながら手作りの山菜飯や赤飯、郷土料理に舌鼓を打ったり、会場で販売される、地元ならではののお米や野菜に山菜、お味噌やお茶、廃油で作った石鹸などの商品を「安いね」「珍しいものがあるね」「この餅は毎年買い付けよう」と買

健康ウォーク中
に、馬荷冷泉の
湯でホッと一息。



【お問い合わせ】
特定非営利活動法人高知県西部NPO支援ネットワーク
☎ 43-4215
http://blogs.yahoo.co.jp/nn_junibe

い物を楽しんだり、訪れたたぐさんの方々にぎわいました。

地域の秋を楽しむ会では、国道56号馬荷入口から会場まで約6キロの健康ウォークも行われ、参加者たちはコスモスを観賞しながら途中、馬荷冷泉の足湯サービスや地域産物の買い物などを楽しみ姿も見られました。

大方橘川地区は、「こすもすの花見」が今年で5回目を迎えました。イベントは口コミで広がり、今では200人もの来場者が訪れます。

中には、地区外に出た方たちも里帰りも兼ねて来場し「久しぶり」「元気やったかね」と、地元の方々との再会を喜び合い交流を深める様子も見られました。



地区住民20数名で、準備も大変だったが、今年も賑やかにできました。来年もみんなが元気であれば開催します。お楽しみに。(大方橘川より)

三世代ふれあい参観日
南郷小学校でリースづくり

10月18日、南郷小学校で三世代ふれあい参観日が行われました。同小学校体育館には、全児童48人とその保護者や祖父母、地域からも浮津婦人会、浮津・鞭老人クラブの方々約160人が一堂に集まり、それぞれ班になって採ってきたかずらや松ぼっくり、せんだんの実やどんぐりなどを材料にしてクリスマス飾り用のリースづくりを楽しみました。地元の門田匡平さんや岡本勝美さんを中心に、老人クラブの方々の手早くかずらをリースの形にする様子を、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。



↑賑やかで、和やかにリースづくりがされていました。←こんなに大きなリースもできました!



後方に見える滝が、お千代が身を投じたといわれる滝「千代が淵」とも呼ばれています。

「千代の碑」修復されました
 蜷川地区米原に祭られている「千代の碑」の足場周辺で土砂崩れが発生し、このたび地元の方々たちによって一帯の修復工事がなされ、10月29日には、関係者らが集まり工事の竣工式が厳かに行われました。

この千代の碑は、鎌倉時代元弘の変により京都から遠流の地畑(幡多)へ下った後醍醐天皇の第一皇子尊良親王を、大平彈正とともに守った有井庄司の娘、千代のお墓です。

この場所は、尊良親王の隠れ家であった米原宮へ食事を届ける役を言い使っていた千代が、ある日時間に遅れてしまい、それを自責して入水した場所ともいわれており、今もその伝えを知る地域内外の方が甲いに訪れています。



左上:七立栗の圃場(七立栗保存会)



右下:座談会の後には、郷土料理を味わいながら、知事や県関係者との交流を深めました。



高知県「対話と実行」座談会
かきせ川地域が県知事と座談会
 10月27日、高知県が実施する「対話と実行」座談会がかきせ川地域で行われました。当日は、尾崎知事、その他県・町の関係者らが馬荷冷泉汲みあげ所と七立栗圃場を各代表者に説明を受けながら見学し、その後、馬荷小学校体育館で、かきせ川地域協議会や七立栗保存会、その他、御坊畑・馬荷・橘川地区で行われている活動をそれぞれ代表から資料や写真を見ながら紹介されました。尾崎知事は「地域の熱心な取り組みに大変頼もしく感じました。今後の活動にも大いに期待します」と話していました。



(右) 踏切に取り残されてしまっても、あわてずにゆっくり前進すると、車に傷がつくことなく遮断管は押し上げられます。

(左) 車が動かない時は、車内に装備されている信号煙火(キャップが発火部分)を着火し、体からできるだけ離してゆっくり回りながら列車に合図を送ります。



踏切事故防止キャンペーン
踏切脱出・列車防護訓練
 11月2日、株式会社土佐くろしお鉄道が踏切事故防止キャンペーンの一環として、入野万行踏切での踏切脱出及び列車防護訓練が行われました。四国運輸局によると、県内では今年に入って10月までに3件の列車事故が発生しているとのこと。うち1件は死亡事故。

スポーツ結果
第26回高知県小学生陸上競技大会
(10月4日春野陸上競技場)

黒潮町からたくさんの小学生が参加し、高成績を収めました。選手の皆さん、おめでとうございます。今後の活躍も期待しています。

5・6年

- 男子 10000m 1位 小橋優太(大方JAC) 記録 3分6秒44
- 女子 10000m 1位 山本紗羅(大方JAC) 記録 3分23秒32
- 女子 走高跳 1位 山沖真菜(中村JAC) 記録 1m30cm
- 女子 400mリレー 5位 大方JAC (澳本みなみ、酒井優衣、二宮萌実、山本紗羅) 記録 63秒26



拳ノ川若山楮 蒸し剥ぎ体験しませんか

佐賀北部地域協議会(会長矢野元)が取り組む、若山楮の復活プロジェクトに向けて、佐賀温泉敷地に、このたび蒸し釜戸を完成させました。今年1月から拳ノ川と市野瀬地区の土地(約1,000平方メートル)で自生した若山楮を本格的に手入れし、スクスク育った楮は、12月上旬に刈り取り、蒸し剥ぎを行う予定です。町内ではめったにお目にかれない、そして、高齢の方には懐かしい刈り取りや蒸し剥ぎの光景をご覧に、また、体験しに来てください。

楮の刈り取り/12月11日(金)~13日(日) <場所>拳ノ川・市野瀬
 楮の蒸し剥ぎ/12月18日(金)~20日(日) <場所>佐賀温泉広場

※刈り取りの場所や日程などの詳細は、恐れ入りますがお問い合わせください

【お問い合わせ】佐賀北部地域協議会事務局(役場佐賀総合支所海洋農林課) ☎55-3115(直通)